

第2学年外国語活動学習指導本時案

授業者 中村 正雄・Launa Karasuno

日時：平成30年10月27日（土）第1校時（9:30～10:15）

対象：第2学年A組 29人 場所：2年A組教室

本時の主張点	子どもたちが楽しみながら活動できる場を設定することで、外国語を使おうとする探究力がはたらくだろう。
--------	---

1. 本時について

本時では今までに取り組んだ学習内容をもとにアクティビティを通して学ぶことができるようにした。既習の内容を3つのコーナーとして場を設定し、外国語を使って友だちと楽しく関わりをもつことができる学習にしていく。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時では、子どもたちが生き生きと外国語活動に親しむことができる姿を目指す。子どもたちが外国語を使うことができた、相手に伝わって嬉しいといった満足感や達成感を味わうことができるように活動を通して学ぶことができる機会を設定する。振り返り時には、今回の授業で外国語を積極的に使うことができたのか見つめ直すことで、外国語で何というのか知りたいという気持ちや〇〇を外国語で言えたよといった姿が見られることを期待する。

3. 探究的な学びを支える授業のしかけ

外国語活動において母語でない言葉を使うことは恥ずかしさや難しさがあり、子どもたちも進んで使うことに抵抗感があるかもしれない。よって『2 A ゆうえんち』という子どもたちがワクワクするようなテーマを設定し、3つのコーナーもそれぞれ遊園地に関連するようなコーナーにした。また、構文や単語は前時までの学習で取り扱い、必ず全員が外国語を使う場を設定することで外国語に触れる機会を作った。低学年であることも考え、分からなかったり、忘れてしまったりしたことを教師にきくなど安心して楽しく学習できるようにインフォメーションセンターとして教師に質問できる場を設定する。また、友だちとやり取りをする場面を設定することで友だちとの会話を楽しめるようにした。また、「Hello」「Thank you」など一言付け加えるなど、やりとりの中で工夫した子どもたちを褒め、次につなげたい。

4. 育みたい資質・能力

探究力	省察性
・楽しみながら活動し、興味をもって外国語活動に取り組もうとする力（主体的に取り組む力）	・外国語をもっと知りたい、使いたいと思ったり、外国語で何というのかという問いをもったりする力。（主体的に取り組む態度を支える省察性）

5. 本時の目標

今までに出てきた表現（Do を使った表現，動物，色，野菜）を使って外国語に親しむことができる。

6. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. ウォーミングアップ Hello Hello stretch</p> <p>あいさつ・ネームタグを渡す。 ・次の人に「How are you?」と聞いて名札を渡す。</p> <p>めあてを確認する</p>	<p>・どう言えばいいか分からない子を支援し，上手に言えた子をみとり，褒める。</p>
<p style="border: 2px solid orange; padding: 2px;">2 A ゆうえんちで外国語をつかってあそぼう</p> <p>歌(seven steps)</p> <p>2. 習った表現を復習する。 Do you like～? Yes, I do. / No, I don' t. colors, fruits, vegetables, animals</p> <p>2 A ゆうえんちで遊ぶ</p> <p>①動物コーナー ②買い物コーナー ③色コーナー</p> <p>3. 振り返り ・時間があれば何人かの振り返りを紹介する。</p>	<p>・今までのゆうえんちのコーナーを振り返り，習った表現を想起させる。</p> <p>・夢中になって単語を言えていない子には声掛けし，支援する。</p> <p>・ありがとうを外国語で言うなど，少しでも多く外国語を使おうとしている子を褒める。</p> <p>・外れた場合の外国語をきちんと使えているかみとる。</p> <p>・時間で区切り，すべてのグループが3つのコーナーを経験できるようにする。</p> <p>主今までに出てきた表現(Do を使った表現，数字，色，野菜)を使って外国語に親しむことができる。(観察・ワークシート)</p>